

日本原子力学会核燃料部会  
第23回核燃料部会総会議事録  
(平成16年秋の大会時)

日時 : 平成16年9月16日(木) 12:15~12:45

場所 : 京都大学吉田キャンパス

出席者 : 約40名

1. 活動報告  
大澤庶務幹事により、平成16年度上期の活動報告がされた。

1.1 総会  
平成16年9月16日(木) 於、京都大学吉田キャンパス

1.2 運営委員会  
・平成16年第1回運営委員会 平成16年5月19日(水)  
・平成16年第2回運営委員会 平成16年7月15日(木)  
・平成16年第3回運営委員会 平成16年9月16日(木)

1.3 部会企画セッションプログラム  
・秋の大会時(京都大学 平成16年9月16日 13:00~14:30)  
・『ATR燃料の開発と実績(Development and Experience of ATR Type Fuel)』  
核燃料サイクル開発機構 大島博文殿  
・『東海炉燃料の使用実績(Experience of Tokai Fuel)』  
日本原子力発電 青田尚士殿

1.4 第19回・核燃料夏期セミナー  
平成16年7月14日(水)~16日(金) 於、北海道洞爺湖ホテル サンパレス

1.5 核燃料部会 予算及び収支  
平成15年度の決算は収入が593,629円、支出が209,535円で収支差額が384,094円となった。平成15年度決算の支出が減っている理由としては、通信費、発送費の決済が平成15年度中に完了できず、平成16年度に持ち越されたためである。  
平成16年度の収入は、配付金収入277,000円、日中韓Proceedings売り上げ2,000円、夏期セミナー残金186,488円の計465,488円となっている。支出の見込みは584,000円であり、収支差額は▲118,512円の見込みである。大幅なマイナスとなる要因としては、先述の通り、会報の決算が遅れて印刷費、発送費が平成16年度の収支に計上されたためである。

		H16年度予算・実績予想			H15年度決算		
		予算	実績予想	備考	予算	実績	備考
収入	配付金収入	277,000	277,000	学会連絡	277,000	277,000	学会連絡
	会費	-	-		-	-	
	寄付金・賛助金収入	-	-		-	-	
	セミナーテキスト売上	-	2,000		-	-	
	セミナー残金	70,000	186,488	H16年度夏期セミナー	70,000	316,629	H15年度夏期セミナー
	合計	347,000	465,488	予実差 118,488	347,000	593,629	予実差 246,629

		H16年度予算・実績予想			H15年度決算		
		予算	実績予想	備考	予算	実績	備考
支出	会議費				-	1,300	運営委員会会議費
	通信費、発送費	82,000	164,000	会報発行回数は1回/年。H15年度分追加	182,000	7,140	会報発行回数を1回/年に変更。発送費はH16年度計上
	会報印刷費	153,000	306,000	会報発行回数は1回/年。H15年度分追加	310,000	0	会報発行回数を1回/年に変更。印刷費はH16年度計上
	ニュース印刷費	-	-		-	-	
	雑印刷費	-	-		-	-	
	セミナー補助金	-	-		-	-	
	会員事務管理費	60,000	60,000	学会連絡	60,000	60,000	学会連絡
	講師謝礼、旅費	54,000	54,000	講師への謝金と旅費	-	101,965	2003年秋の大会講師への謝金と旅費 企画セッション追加費用77,225円
	記念品作成費等	-	-		-	-	
	その他	-	-		-	-	
	予備費	-	-		-	39,130	企画セッション資料印刷費39,130円
	合計	349,000	584,000	予実差 235,000	552,000	209,535	予実差 ▲342,465
	収支差額	▲2,000	▲118,512	予実差 ▲116,512	▲205,000	384,094	予実差 589,094

単位:円

## 1.6 22回総会以降の運営委員の交代

委員交代及び委員追加が紹介された。次回運営委員会から日本原電の藤田委員が新たに加わることとなる。

[委員交代] (NFD) 緒方恵造→平井睦(平成16年度第1回運営委員会後より)  
 (MMTL) 須田佳孝→(ZP) 萩茂樹(平成16年度第1回運営委員会後より)  
 (東京電力) 北村秀哉→大澤彰(平成16年度第2回運営委員会後より)

[委員追加] (日本原子力発電) 藤田千俊(平成16年度第3回運営委員会後より)

## 1.7 運営委員の業務担当交代予定

来年度の担当幹事が紹介された。

担当	平成16年度担当者	平成17年度担当者
広報	[東北大] 塩川委員	[九州大] 杉崎委員
ホームページ	[JNC] 木原委員/庶務幹事	[JNC] 木原委員/庶務幹事
部会報	[ZP] 萩委員	[日本原電] 藤田委員
国際活動	森副部会長、[電中研] 木下委員、 [JNES] 林委員	森副部会長、[電中研] 木下委員、 [JNES] 林委員
国内企画 (横断活動、年会時企画)	[九大] 杉崎委員、[電中研] 木下委員	[京大] 森山委員、[JNES] 林委員
庶務幹事(財務含む)	[北大] 佐藤委員、[東電] 大澤委員	[名大] 松井委員、[ZP] 萩委員
夏期セミナー幹事	[北大] 佐藤委員、[GNF-J] 伊東委員	[東北大] 塩川委員、[MHI] 安部田委員

## 2. 今後の活動計画

・会報：第40号(平成17年1月発行予定)

・第20回核燃料・夏期セミナー：平成17年7月7日～9日(土)(計画中)

・総会：平成17年3月29日(火)～31日(木) 春の大会時(於、東海大学)

・運営委員会：平成16年度第4回運営委員会 平成16年12月予定

平成16年度第5回運営委員会 平成17年春の大会時(於、東海大学)

山脇部会長より今後の活動計画として、以下を報告。

① 核融合工学部会、材料部会、核燃料部会の3部会の合同夏期セミナーを平成17年8月1日～3日に韓国の釜山で行われ、日本側の担当は核融合部会となっているが、核燃料部会も何らかの形で参加する方針。

② 2005Water Reactor Fuel Performance Meeting が平成17年10月2日～6日に京都で行われることが紹介された。AESJ、ENS、ANSの共催に加えて、韓国、中国が参加する旨のMOUにサインをするために各国にMOUを回しており、最終的には5学会の共催となる。

③ 部会会員数は最近数名程度ずつ増加。(現在388名)

また、森副部会長から学会に寄稿している連載講座について紹介された。今年の5月号から始まり、次回5回の講座が掲載され、来年2月までに10組を連載する予定。

## 3. その他

(1) 旅費・謝礼等の内規

平成16年度第2回運営委員会にて承認されている「旅費・謝礼等の内規」が紹介された。

以上

過去の総会議事録の一覧はこちらです。

[過去の総会議事録一覧](#)[もどる](#)